

コミュニティ新聞

ふれあい

第36号

平成30年12月15日

亀田小学校区

コミュニティ協議会



鳥居が新しくなった諏訪神社

地域に暮らす誇りを次世代へとつなぐ

江南区地域総務課

課長 藤崎 三七雄



世間では人口減少、少子・超高齢化の進行による問題がクローズアップされています。商店や公共交通の撤退など生活関連サービスの低下だけでなく、担い手不足などによる地域コミュニティの低下などが懸念されます。

江南区においてもすでに人口減少局面に入っており待ったなしの状態です。そして、区内でも地域によって人口減少の進行度は異なっており、対応策についても一律ではありません。

今年9月からは各地区のコミ協さんからご協力いただきながら区内の一部の地区を皮切りに中学校区単位で地域の皆様との意見交換を開始しました。今後すべての地区で人口減少要因などについて意見交換を行う予定です。

意見交換に参加させていただく中で印象的だったのは「地域に暮らす誇りや地元愛を伝えきれていないのではないか」という意見でした。

亀田小学校区は「三・九の市」や「かめだ祭り」などの伝統をはじめ、人と人のつながりなど多くの魅力にあふれた地域です。

そのような中で亀田小学校区コミュニティ協議会では、亀田甚句の次世代への継承に向けた取り組みをはじめ、安心安全パトロール、三・九の市の開催日に併せた「よりなせ家」など、多くの取組みを通じて、地域の強みや魅力をさらに大きく伸ばしていきたいと考えており大変心強く感じています。

今後も皆様からいろいろと教えていただきながら、よりよい地域づくりのために一緒に取り組んでまいりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

活動報告

ふれあい交流部会

ふれあい交流部会 部長 笹谷 龍也

ふれあい交流部会は、校区内のみんなが互いに理解し、楽しく交流することを目的に事業を行っています。今年度これまで行った事業の報告をします。

8月11日開催の盆踊り大会は、お囃子講座受講者の発表の場として、また、亀田まつりに向けた練習の場として広報部と合同で開催しています。受講者のお囃子や唄に合わせて亀田甚句を踊りました。休憩中には、子どもたちはビンゴゲームで楽しみました。

8月25日の亀田まつり当日は、300人を超える参加者があり、まつりも大いに盛り上がっていました。また、櫓に上がる地方（じかた）の中に受講者も何人かいて、お囃子講座の成果がでたかと思えます。

10月7日開催した散策ふれあい会は、台風による梨の落下が心配されたため、事前に梨の収穫がされたことにより梨狩りは中止となりましたが、梨畑まで散策をし、その場で大きな梨をいただきました。亀田市民会館ではビンゴゲームや豚汁を食べ、楽しい時間を過ごしました。参加者からも片付けなどのご協力をいただきありがとうございました。

たくさんの事業に毎回多くの方から参加していただきありがとうございます。



盆踊り大会



かめだ祭り・甚句流し



じゃんけんゲーム



豚汁を作ってくださった
24区カサブランカの皆さん

散策ふれあい会



梨畑へ散策

広報部会

広報部会 部長 渡辺 寿子

広報部会の活動として「ふれあい」新聞の発行にあたり、部員一同知恵を出し合い編集会議・校正会議をして無事に発行することができました。

また、ふれあい交流部会と合同で盆踊り大会の開催・地域での行事や情報などをお伝えすることができたかと思えます。

原稿をお寄せいただきました皆様ありがとうございました。



編集会議

安心・安全部会

安心安全部会 部長 坂井 信行

安心安全部会の活動として、第3回防災研修会を6月27日(水)に行いました。けがや病気の中で最も緊急を要するものは、心臓や呼吸が止まってしまった場合です。今回は心肺蘇生とAEDの使い方について習得し、万一の事態に遭遇した時に対処出来るよう「普通救命講習」を実施しました。大切な人の命を助ける貴重な体験をすることができました。

9月15日(土)には、亀田小学校とコミュニティ協議会の「合同防災訓練」を行いました。今回は避難所開設を想定した訓練です。避難所の開設と運営についてDVDを使いわかりやすく講演をしていただきました。また、児童・保護者・地域住民がそれぞれの自治会・町内会毎にグループ分けし、煙体験や応急処置訓練・AED訓練などを行いました。非常食体験では「山菜おこわ」をいただきました。

児童は「地区子ども会」単位に分かれて、講演や訓練を通して感じたことを学習しました。3人の6年生が児童を代表して発表しました。立派な発表でした。大人も子どもも、みんなが一緒に防災を考える日となり、大変意義深い一日でした。



福祉部会

福祉部会 部長 藤田 庄司

福祉部会は、「亀田地区社協」の活動もしております。社協主催の①お茶の間・サロン運営の意見交換会②災害時ボランティアセンター設置訓練③赤い羽根街頭募金④社協亀田地区説明会・座談会⑤北区早通地区社協の活動研修会参加等、また亀小校区コミ協選出で「亀田圏域支え合いしくみづくり会議」の一員であることから楽しい支え合いの場づくりに協力等、外部での研修・活動に参画しています。

一方で、「よりなせ家」運営に福祉部が管轄することから、コミ協の大事な「茶の間」として、民生・児童委員の方々から協力を頂き、一人でも多くの方から気軽に立ち寄れる「場所」の有効活用に力を入れてまいります。

福祉部の活動は、(1) コミ協役員会での支え合いしくみづくり勉強会 (2) コミ協「ボランティアの集い」を開催いたしました。

今後もコミ協の福祉部の在り方を、活動に不可欠な自治・町内会長様・民生委員児童委員の皆様からのご支援を得ながら求めて行きたい思います。

ふれあいの駅「よrinaせ家」だより

今年のかめだ三・九の市マルシェの賑わいは先月の大抽選会で終わりました。

当方の三・九の市日開催の「よrinaせ家」は大賑わいこそないもののより多くの住民の皆さんとつながることを大事との思いでボランティアさんと本町通りで踏ん張っています。

亀田地域は平均寿命に比して健康寿命は長くないとの調査結果が見られます。即ちピンピンコロリよりもネンネンコロリの人が多い傾向にあるようです。

冬場は、家の中で何もしないでテレビばかりを見ているとのんきなようでいつか知らずに年を取り足腰が弱り、ネンネンコロリに進行します。健康寿命を延ばすには生活習慣予防や心身の体操などが欠かせません。

「よrinaせ家」では介護・健康相談、元気塾（笑いヨガ・健康体操）、ふれあいトーク、美術作品展示など内容がマンネリにならないように工夫して開設しています。

新鮮な日々の生活、新しい挑戦の一つとして「よrinaせ家」を活用していただけたらと期待しています。

敷居が高い、一人では入りにくいなどを耳にしますが一見は百聞にしかずです。ふれあいの駅「よrinaせ家」のお得意様になって、みんなでピンピンコロリを目指しましょう。

江口 夫佐子



開設日

三・九の市日 9時30分～12時
元気塾 毎月19日10時～11時
(偶数月は笑いヨガ・奇数月は頭と体の体操や講話など)

よrinaせ家ギャラリー

第2回水彩画クラブ亀田展 (6月23～25日)

第3回絵画大作展 (9月29～10月1日)

第3回亀田の切り絵展 (12月1～3日)

が開催されました。

次回のギャラリーでの開催予定は、

平成31年2月に亀田の風景画展を予定しております。ぜひ、お立ち寄りください。



第2回 水彩画クラブ亀田展

第3回 絵画大作展



定例介護(健康)相談会 (10時30分～11時)

平成31年1月9日(水)

除雪への支援

平成31年2月13日(水)

血行改善の食生活

平成31年3月13日(水)

徘徊高齢者の家族支援

その他、介護保険等の相談も随時受け付けます。

廃天ぷら油の回収

亀田地区コミュニティセンター玄関前で、回収を行っています。

毎月第1土曜日(午前8時30分～正午まで)です。

皆様のご協力をよろしくお願いします。

まち角お地蔵様

城山2丁目にあるお地蔵さま。

お隣の井越さんが、地蔵院のお世話をしています。

そして毎日、お地蔵さまと一緒に子どもたちの登下校を見守っています。

